



印刷を基軸に、最先端の情報技術で

文化学術のさらなるステージへ

中西印刷の社是は「印刷を通じた文化学術への貢献」

弊社は老舗印刷会社として、この社是を実現するために挑戦を続けてまいりました。

明治時代木版の会社から金属活字を導入したのがそもそものはじまり。

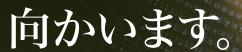
その後も西夏文字の活字鋳造から言語学書の印刷。

イギリスから鋳造機を輸入しての欧文印刷と数々の挑戦を続け、

コンピュータとの出会いにより新たな学術印刷の地平を切り拓きました。

もはや、中西の未来は紙だけにとどまりません。

広大な学術情報流通の未来にこれからも挑戦を続けてまいります。



歷史 History

1865創業

慶応元年 初代 中西嘉助 書肆めとき屋から分家独立。 明治3年 京都寺町六角下るに書籍商及び木版印刷の

松香堂創業。

木版でできた火鉢。木版から活版へと変わるとき、記念につくられ、長く伝承されてきました。



京都府令達月報 (明治31年1月)

明治18年 京都府庁の現在地(下立売釜座)移転にともない命により、

下立売小川の現在地へ転居。事務所及び工場新築。

昭和28年 中西印刷株式会社に組織変更。主として官庁印刷、出版物

印刷を主力に受注し現在に至る。

1965西夏文字

世界のどこにもなかった西夏文字の金属活字。 失われた文字を印刷するため中西では母型の 製作から行いました。



1975"世界の文字"

活版時代、世界の多くの文字で印刷する ことは困難を極めました。中西は最高の 職人を擁してこうした多言語組版を実現 していました





昭和61年 京都府より「京の老舗」の表彰を受ける。 電算写植機導入。以後、電算写植の拡充につとめる。

1992活版全廃 \sim 電算写植 \sim

平成4年 活版全廃。電算写植平版専業となる。



活版印刷で勇名を馳せた中西印刷が全面的に電算に移行し、活版の技と電算の巧が融合しました。この過程は「活字が消えた日」として出版され、広く世間に知られることとなりました。



平成8年 インターネット事業部発足 オンラインジャーナル分野に進出。 平成11年 英国Oxford University Pressと提携。東京出張所を開設。

2000 \sim 様々なメディアに対応

中西の改革は印刷に電算を応用したことにとどまり ません。電子空間そのものへ学術情報を発信してい く、インターネット時代に積極的に対応しています。







オンラインジャーナル・電子書籍など新しいメディアに挑戦し続けています。

平成15年 アナログ設備全廃。全社フルデジタル体制に移行。

平成17年 東京事務所開設。

中小企業経営革新支援法にもとづく承認企業となる。 経済産業省IT活用型経営革新モデル事業に認定される。



平成24年 世界初の日本語XMLオンライン ジャーナルの開発。

平成25年 東京事務所を東京営業所に改組。 平成27年 現社長中西秀彦米国NLMで、

日本語オンラインジャーナルに ついて発表。

紙に刷る 紙は柔軟性に優れ、持ち運びも便利な媒体で、なによ り読むのに電気もインターネット回線も必要ありません。 中西印刷は印刷会社として紙の可能性を信じています。 電子書籍やインターネットにはない付加価値、単なる 情報媒体としてではなく、感性に訴え、物としての重み をもった本の存在感です。中西印刷はインターネット の時代だからこそ、紙の印刷の品質にこだわり続けます。



状況やニーズへの高い対応力

紙への印刷の意味は大きくかわっています。大量に高速にという時代から、少部 数でも美しく、未来に残る印刷が求められています。中西ではオフセット印刷と オンデマンド印刷という技法を駆使してこの要望にお応えします。

● オフセット印刷

現在主流の印刷技法です。中西印刷では一貫生産体制にこだわり、 組版から、製版、印刷まで自社でおこなっています。

最先端のデジタル機器と職人の技が、美しい印刷を支え続けます。









FUJIFILM Iridesse Production Press

● デジタル印刷*

印刷そのものにデジタル技法を応用しま した。印刷データを直接機械におくりこ むだけで、高精細な印刷が可能です。特 に少部数カラー印刷に威力を発揮します。

*このパンフレットはデジタル印刷で作製しています。

歴史に培われた書籍づくりのノウハウ

インターネット時代の本は情報を伝える以上の価値がなくては なりません。中西印刷は100年1000年単位で残る本作りを指 向してきました。そのノウハウは他社の追随を許しません。堅 牢かつ美的にすぐれた製本。それは中西の原点でもあります。



明治の昔から本を作ってきた中西の DNAは現在に受け継がれています。





50

時代を読む

中西は印刷のさらに先を見つめています。「文化学術への 貢献」のためには、何をなすべきかを自らに問うてきまし た。出た結論は、印刷をより広い意味で捉えることです。 紙だけでなく画面も印刷の延長上にある。学術印刷を長 く取り扱ってきた中西だからこそ、新たなメディアにもそ のノウハウを投入することができるのです。オンライン ジャーナルから電子抄録へ必要とされる技ならなにもか も吸収して、お客様に最善の情報発信方法でお届けします。



人材 情報社会の未来を支える精鋭人

未来は人が切り拓きます。中西には最高の職人と共に、情報社会の未来 を支える頭脳が揃っています。博士1人、修士8人(2018年10月現在)とい う中小企業にはまれな高学歴の人材が在籍しています。もちろん、学歴 と実績は必ずしも一致するものではなく、これは一面にすぎません。中 西が文化学術の発展のために如何に寄与できるか、社員全体が一体と なって研鑽をつみ、高度な情報処理力をもった人材群となっているのです。





学術出版の技術変遷論者 (印刷学会出版部) 社長の著作です。

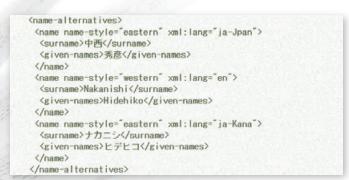




FPUB版

ITの先端を担い最善の技術力を構築

IT(Information Technology)の時代、情報に関する諸技術を極め なければ時代のニーズに応える事はできません。それは文化学術の 世界においても同じこと。中西印刷では早くから培ってきたコン ピュータブログラミングや言語処理技術の究極としての学術XML 技術を日本最先端の位置にまで高めています。中西発の規格が世界 標準となるなど、常に学術印刷の世界をリードし続けています。こ れからも中西のITに対する取り組みが終わることはありません。



米国NLMのJATSタグライブラリに当社から原案を出した痕跡が残っています。



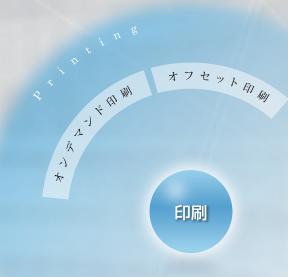
学術流通の最先端オンラインジャーナル。 中西印刷は常に日本の最先端を走り続けています。



最先端の情報技術で あらゆるご要望に お応えします。

先生は、研究と教育にどうぞご専念ください

中西印刷には今3つの柱があります。「印刷」「学会サポート」「IT」です。「印刷」は紙を中心とした情報発信、「学会サポート」は学術の基礎を支える学会事務受託や編集査読、そして「IT」は情報処理技術です。日本にはそれぞれの分野で優れている会社は多いのですが、この3つを兼ね備えた会社は中西だけでしょう。この3つを兼ね備えることで、その間にある領域が可能になりました。たとえば学会サポートとITの間には「オンライン会員管理システム」が、学会サポートと印刷の間には「編集査読」受託業務がはいります。そしてすべての真ん中に中西印刷の卓越したXML技術があります。



学術誌印刷 (編集査読)

Service Contents

業務コンテンツ

松香堂

中西印刷の古い屋号である「松香堂」は現在出版部ブランドとなっています。 学術書の出版を中心に、ISBNを付与した本格的な出版が可能。言語学・文化 人類学領域では特に高い評価をいただいております。出版から文化学術への貢献をお手伝いします。



冊子工房(オンライン通販)電子書籍



XML

オンライン 管理システム

学 会 サポート

Suppo

電子書籍

学術情報流通は紙から電子の世界へと移行しつつありますが、その最先端にあるのが電子書籍です。電子の読書にふさわしい専用端末の電子書籍ができることで読書の概念が一新されました。中西では学術分野で特に有効と考えられる電子抄録集を中心に電子書籍事業にも進出しています。



XMLオンラインジャーナル

オンラインジャーナルがPDFからXMLの時代になろうとしています。PDFは紙の誌面を電子画面でも読めるようにしただけでしたが、XMLは画面での読みやすさをまず追求しています。もちろん読みやすさだけでなくXMLは電子ならではの機能を付加することも可能。もうオンラインジャーナルは紙の雑誌のエピゴーネンの存在から、まったくあたらしい学術情報媒体としてうまれかわりました。中西は日本初の和文XMLオンラインジャーナル(「消化器外科学会雑誌」2012年7月)をてがけるなど、常にこの世界の先頭を走ってきました。



PMC

学会・大会業務

研究の要としての学会の存在は文化学術に とって非常に重要です。しかしその運営は 事務作業の連続。会員管理から経理、税務、 労務など学術を担われる先生方にとってご 負担になりがちでした。中西は先生方は「研 究と教育に専念」していただきたいと、学 会事務受託業務をおこなっております。



学会事務

大会事務

Nakanishi

Three

Solutio



編集査読

編集・査読

単に論文を集めただけでは学術雑誌や学術書は発行できません。そこには編集や校正作業が必要ですし、掲載するのにふさわしいかどうかを検討する査読過程も欠かせません。しかしその事務手間も先生方へのご負担となりがち。中西では「文化学術への貢献」のためにこうした業務も一括してお受けしております。



代表取締役社長 中西 秀彦

文化学術都市京都から世界に向けて

明治の昔、京都の地で発足した中西印刷。

しかし、今、その活動は京都にとどまらなくなっています

幸い、インターネット技術はグローバルな活動をぐっと身近にしました

1999年英国Oxford University Pressとの提携もその一環でした。

でもネットだけではやはり本当の意図は伝わりません

学術の中心はやはり東京。今、中西印刷はあらたに東京に営業部をかまえました

東京をはじめ関東一円、そして全国・世界へと

中西は「文化学術」のある限りどこへでもでかけていきます

東京営業所

中西印刷では東京方面の需要におこたえするため東京営業部を設置しています。場所は東京都文京区本郷二丁目。東京大学のすぐ近くです。学会事務の拠点となるとともに、東京「営業部」として、関東のお客様の要望にお応えいたします。中西印刷は京都の会社、それはもう昔のことです。

会議スペースを設けておりますので、学会 様のちょっとした会議などにご使用いた だくことが可能です。遠慮なく、当社東京 営業部スタッフにお申し付けください。







Tokyo Sales Dept





中西印刷株式会社

京都本社

〒602-8048 京都府京都市上京区下立売小川東入ル西大路町146番地 T E L | 075-441-3155(代) F A X | 075-417-2050(営業)



東京営業所

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目27番地16 大学通信教育ビル 5階 T E L | 03-3816-0738(代) F A X | 03-3816-0766(営業)



• E-mail infos@nacos.com • URL https://the.nacos.com •

CSRへの取り組み





